

第 68 回 美術史学会全国大会プログラム

5月22日(金) 受付:五十周年記念館、9:00受付開始

研究発表 (10:00-12:00) 会場:五十周年記念館 金光ホール

10:00 - 10:40 黒田清輝「野辺」に託された真意 清水 友美(成城大学)

10:40 - 11:20 戦時下における「前衛絵画」の展開 —美術文化協会、吉井忠を中心に—
弘中 智子(板橋区立美術館)

11:20 - 12:00 高松次郎評価の変遷 —戦後日本美術批評の推移とともに— 岩見 亮(慶應義塾大学)

研究発表 (13:15-16:05) 会場:五十周年記念館 金光ホール

13:15 - 13:55 1910年日英博覧会における美術出品
—国宝の出品と「特別保護建造物及国宝帖」をめぐって— 林 みちこ(筑波大学)

13:55 - 14:35 オットー・ガイヤーによるベルリン旧ナショナルギャラリーのフリーズに関する考察
三井 麻央(岡山大学)

(休憩10分)

14:45 - 15:25 ジャクソン・ポロックの作品の「装飾性」 —20世紀美術史への新たな位置づけ—
寛 菜奈子(京都大学)

15:25 - 16:05 カラーフィールド絵画の受容における大衆文化の意義 加治屋 健司(京都市立芸術大学)

総会 (16:15 - 17:15) 会場:五十周年記念館 金光ホール

5月23日(土) 受付:五十周年記念館(第一分科会場)、9:15受付開始

研究発表(午前)

第一分科会 (10:00-12:00) 会場:五十周年記念館 金光ホール

10:00 - 10:40 東大寺僧形八幡神坐像と重源上人坐像について
—大勧進重源と別当弁暁の関係を手がかりに— 瀬谷 貴之(神奈川県立金沢文庫)

10:40 - 11:20 醍醐寺木造俱生神立像 —快慶作品の一例として— 久保田 綾(大正大学)

11:20 - 12:00 安倍文殊院騎獅文殊菩薩及脇侍像考 増田 政史(慶應義塾大学)

第二分科会 (10:00-12:00) 会場:文法経講義棟2階 20番講義室

10:00 - 10:40 ロイヤル・アカデミーにおける英国水彩画家の展示戦略
—「英国水彩画の父」ポール・サンドビーのメディウムの選択意図—
山口 美帆(慶應義塾大学)

10:40 - 11:20 シャルダン作《芸術のアトリビュート》(1765, ルーヴル美術館蔵)について
廣瀬 聡平(日本大学)

11:20 - 12:00 ドラクロワ作《十字軍のコンスタンティノープル攻略》—歴史的細部の再現と普遍性—
西嶋 亜美(尾道市立大学)

『美術史』論文賞表彰式 (13:30 - 13:50 会場:五十周年記念館 金光ホール(第一分科会場))

(休憩10分)

シンポジウム「造形と見えないもの —様式論のために イコノクラスムを超えて—」

(14:00-17:40 会場:五十周年記念館 金光ホール)

司会:鐸木 道剛(岡山大学)

14:00 - 14:10 趣旨説明、パネリスト・コメンテータ紹介

14:10 - 14:40 Starry Night, v.2 辻 成史(大阪大学名誉教授)

14:40 - 15:10 日本の仏像 —見えないものの様式化と境界—
金子 啓明(興福寺国宝館長・東京国立博物館名誉館員)

15:10 - 15:40 中国美術史における皇帝と士大夫の表象 —可視と不可視のはざまから—
塚本 麿充(東京大学)

(休憩15分)

15:55 - 16:15 コメンテータ1 稲賀 繁美(国際日本文化研究センター)

16:15 - 16:35 コメンテータ2 岡田 温司(京都大学)

16:40 - 17:40 ディスカッション

懇親会 (18:30 - 20:30 会場:岡山全日空ホテル 19階スカイバンケット「宙」)

* シンポジウム終了後、岡山大学構内から懇親会場への送迎バスを運行いたします。

5月24日(日) 受付:五十周年記念館(第一分科会場)、9:30受付開始

研究発表(午前)

第一分科会 (10:00-12:00) 会場:五十周年記念館 金光ホール

10:00 - 10:40 薬師寺僧形八幡三神像の制作年について 近藤 将人(名古屋市)

10:40 - 11:20 京都国立博物館および常盤山文庫所蔵「柿本人麿像」の型とその制作背景
三浦 敬任(東北大学)

11:20 - 12:00 個人蔵《春日若宮祭礼図・鷹狩図屏風》の主題と典拠 水野 裕史(熊本大学)

第二分科会 (10:00-12:00) 会場:文法経講義棟2階 20番講義室

10:00 - 10:40 アントニウス会サンタントワーヌ修道院附属聖母聖堂聖三位一体脇礼拝堂の考察
茅根 紀子(実践女子大学)

10:40 - 11:20 ロヒール・ファン・デル・ウェイデン作《コロンバ三連画》の制作事情
—ケルン商人のネットワークを手がかりに— 蛭川 順子(関西大学)

11:20 - 12:00 アルブレヒト・アルトドルファー《エジプト逃避途上の休息》の泉について 藪田 淳子(神戸大学)

研究発表(午後)

第一分科会 (13:30-17:45) 会場:五十周年記念館 金光ホール

- 13:30 - 14:10 長沢芦雪筆「西園雅集図」について —画題の文学的典拠との関係を中心に—
藤原 幹大(名古屋大学)
- 14:10 - 14:50 朝鮮通信使の交流と焼画
片山 真理子(京都工芸繊維大学)
- 14:50 - 15:30 鯉絵と市川團十郎像 —災害と江戸出版界—
石隈 聡美(國學院大学)
- (休憩15分)
- 15:45 - 16:25 豊原国周の大首絵作品について
菅原 真弓(和歌山大学)
- 16:25 - 17:05 石井鶴三、2体の《島崎藤村先生木彫像》
—新発見の木片史料による制作過程の検証—
福江 良純(北海道教育大学)
- 17:05 - 17:45 東野芳明のデュシャン／中原佑介のデュシャン
平芳 幸浩(京都工芸繊維大学)

第二分科会 (13:30-17:45) 会場:文法経講義棟2階 20番講義室

- 13:30 - 14:10 ヤン・ホッサールの《ウェヌスとクピド》(ベルギー王立美術館蔵)をめぐる一考察
篠崎 亮(東北大学)
- 14:10 - 14:50 子ハンス・ホルバイン作《ホワイトホール・パレスの壁画》における
ヘンリー八世の足を広げて立つポーズに関する一考察
西 美弥子(国立新美術館)
- 14:50 - 15:30 1516-1534年のフィレンツェにおけるミケランジェロの群像表現
—《サムソンとペリシテ人》再評価—
新倉 慎右(慶應義塾大学)
- (休憩15分)
- 15:45 - 16:25 ジョルジョ・ヴァザーリと「画家の礼拝堂」 —彫像のまなざしと死者の記念—
古川 萌(京都大学)
- 16:25 - 17:05 カラッチ一族によるカーザ・サンピエーリ=タロンのフレスコ作品群
—その図像プログラムに関する一考察—
山本 樹(東京藝術大学)
- 17:05 - 17:45 アルカディアのピンダロス
—ヴィットリオ・マリア・ピガリのボローニャ、ラヌツィ館ギャラリー天井画における
ピエル・ヤコポ・マルテッロの詩的創意—
高橋 健一(和歌山大学)

(以上)